

平成二十九年
長野市立長野中学校
作文(時間 五十分)

【注意事項】

- 1 「始め」の合図があるまで、中を開いてはいけません。
- 2 作文の問題は、問題冊子の2～3ページに印刷されています。
- 3 問題冊子とは別に、2枚の解答用紙があります。2枚の解答用紙に、受検番号と氏名をまちがいのないように書きなさい。
- 4 解答は、すべて解答用紙の解答らん書きなさい。なお、解答用紙の※印のあるところには、何も書いてはいけません。
- 5 問題冊子のあいているところは、メモに使ってもかまいません。
- 6 検査が始まってから、印刷がはつきりしないところや、ページが足りないところがあれば、静かに手をあげなさい。
- 7 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 8 まわりの人と話をしたり、用具の貸し借りをしたりしてはいけません。
- 9 解答は、原稿用紙の正しい使い方と指定された字数や条件にしたがって、たて書きで書きなさい。

- (1) 文字や数字は1まずに1字ずつ書き、文の終わりには句点(。)()を書きなさい。句読点(、)(。)(や、かぎかっこ「」()も1字に数え、1まずに1字ずつ書きなさい。

- (2) 3ページの【問】(2)については、(例)のように段落の最初のまずをあげて書き始めなさい。また、(例)のように、句読点が行の先頭にこないようにしなさい。

(例)

美	
し	冬
く	の
さ	寒
い	さ
た	に
	た
	え
	た
	梅
	が、

【問】

次の文章は、菊田文夫さんの本「みらいへの教科書きみと・友だちと・よのなかと」の一部です。これを読み、次の各問いに答えなさい。
なお、段落の上にある□で囲まれた漢数字は、段落の番号を表します。

著作権法に基づき、公開しません。

※子女…子ども。

※無償…ただ。無料。

※観かた…物事をよく見て、考えるための方法。考え方。「見方」と同じ。

(1) 本文中の傍線部ほうせんぶについて、筆者が述べている「学校だからこそ経験できる、すばらしいこと」とは、どのようなことですか。

本文の第四段落から第六段落までの言葉を使い、筆者の考えを八十字以上、百字以内でまとめなさい。ただし、書き始めを1ます空ける必要はありません。

(2) あなたにとって、学校だからこそ経験することができた、すばらしいこととは、どのようなことですか。筆者の考えをふまえて、次の条件にしたがって書きなさい。

条件 ア 三段落構成とし、一段落目には、あなたの経験を具体的に書くこと。

二段落目には、その経験によって、あなたがどのようなことを学んだのかを書くこと。

三段落目には、その経験によって学んだことを、どのようにいかしているのか、または、いかしたのかを書くこと。

イ 題名は書かずに、一行目から本文を書くこと。

ウ 字数は、四百五十文字以上、五百字以内で書くこと。ただし、書き始めや新しい段落にするときの空白になります目も一字に数えます。

